



議会だより



(北海道町村議会議員研修会)

●令和7年第2回定例会及び第3回臨時会

もくじ

審議された議案と結果	P 2
一般質問	P 3
定例会議案の審議要旨	P 6
臨時会議案の審議要旨	P 7
全員協議会	P 7
総務常任委員会	P 8
議会の動き	P 10
編集後記	P 10

第195号

令和7年8月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

令和7年第2回定例会（6月18日）

＜行政報告＞

喜茂別町地域防災計画の修正に伴う公表について
北海道ユリカゴ株式会社の解散について

＜一般質問＞

本町の子どもの安全対策について	越後議員	3ページ
保育所の主食持参について	山下議員	4ページ
旧鈴川小学校の施設活用について	岩部議員	5ページ

＜報告＞

令和6年度喜茂別町一般会計繰越明許費繰越計算書について	物価等高騰対策事業 145万円	報告済み	
-----------------------------	-----------------	------	--

＜条例改正＞

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	選挙長、立会人、開票管理者などの報酬増額	原案可決	
喜茂別町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	住登外者宛名情報の利用に関する規定を整備	原案可決	

＜令和7年度補正予算＞

一般会計（第2回）	青少年スポーツ全国・国際大会出場助成金、こども家庭センター開設準備業務委託料など3193万1000円増額	原案可決	質問あり 6ページ
下水道事業会計（第1回）	社会資本整備交付金減額による財源振り替え	原案可決	

＜関係行政庁等への意見書提出＞

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	請願者 全道林活議連連絡会 会長 三好 雅 提出者 山下純 賛成者 越後宏明 岩部 剛 提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等	原案可決	
---	---	------	--

令和7年第3回臨時会（5月21日）

＜行政報告＞

職員の兼業許可に関する規程の見直しについて

＜工事請負契約の締結＞

教職員住宅新築工事	契約金額 8263万7500円 契約相手方 富田・日野浦特定建設工事共同企業体 契約の方法 7社による指名競争入札	原案可決	質問あり 7ページ
-----------	---	------	--------------

一般質問 要旨

※一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に質問し、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

保育所前の道路の安全対策を

町長 バリケード設置など対応する



えちご ひろあき
越後 宏明議員

越後議員

最近、児童や園児の列に車が突っ込み、命が奪われる痛ましい事故が多発している。

本町の保育所前の通りを調べてみたところ、注意喚起するにはわかりづらい、小さな看板と、電柱に小さく児童注意と書かれているだけである。

車のスピードを抑制し注意喚起のための目立つ看板の設置や、横断帯の設置などが必要だと考える。

一度安全対策を見直して、痛ましい事故を未然に防ぐ対策を講じてほしいと思うが、町長の考えを伺う。

林町長

昨年、保育所付近で、車同士の衝突や電柱への衝突といった交通事故が発生している。

幸い大事故には至らなかったが、保育所や通学路付近での事故であり、一つ間違えれば取り返しのつかない大惨事となった可能性もある。

そのため、今年度においては電柱幕を3か所から5か所に、交通安全旗を5本から15本に増やすなど、交通安全対策を強化している。

北海道警察に横断歩道の設置を求めているが、要望には応えられないとのことであるので、町として、老朽化している飛び出し注意看板の交換や、車道への区画線整備など、さらなる交通安全対策の強化を図っていく。

また、保育所建設時より、保護者の皆さまには、保育所左側の駐車場に駐車し、送迎するようお願いしているが、平成25年にちびっこ広場右横に駐車可能なスペースができたことから、そこに駐車し、横断して送迎する方が増えている。

今後においても、保護者の皆さまには指定

の駐車場から送迎するようにお願いしていくが、子どもの飛び出し防止のため、安全バリケードの設置についても早急に行っていく。

越後議員（再質問）

バリケードは飛び出し防止柵のことだと思うが、冬の除雪等があるので、できれば取り外しのできるタイプを考えていただければと思っている。

やりすぎというぐらいの感じで、注意喚起等の看板等を設置していただければと考えている。

正直、今まで大きな事故がなかったのが不思議なぐらいな感じの注意喚起である。

何もしてなくて事故が起これば、「こんなことをしてないから事故が起きてしまったんだ」というものと、何かしらの対策をきちんとして事故が起きてしまったら「これだけやって起きてしまったか」というニュアンスの違いだと思う。

町がやっているやっていないで、事故が起きた時に責任問題になってくる。

林町長

今回設置するのは急遽なので、工事用の子供たちがちょっと喜ぶような、お猿さんの絵のような子供用のバリケードになっている。

よく公園等にある円柱の取り外し可能なバリケードは、すぐはできないが早急に設置したい。

また、制限速度の30キロで走っていたら抜いていく車両もあって、何回か町民も危険な目にあったと聞いている。

今後もたった数十人しかいない子供たちを守るためにも、できるだけ安全対策に努めてまいりたい。

保育所でごはんの提供を

町長 実現へ向け努力していく



やました じゅん
山下 純 議員

山下議員

現在、本町の保育所では、3歳以上はおかずは提供されるものの、主食であるご飯は、毎朝保護者が準備し、持参している。

保護者にとっては大きな負担となり、これからの季節は衛生的にも不安視されている。

この制度は、戦後の食糧難の事情で、3歳未満は主食と副食の両方を、3歳以上は副食のみを国が支援するようになった流れと聞いており、非常に時代遅れだと思っている。

当然全国の自治体の中には、完全無償化しているところもあれば、お金を払えば保育所で用意するところもある。

例えば十勝の音更町では、月額800円を払えば、主食も保育所で用意する選択制になっている。

しかし、音更町に問い合わせたところ、全員がお金を払っており、持参している人はいないそうである。

子育て政策に、より一層力を入れていこうという本町としては、この際主食の無償化、あるいは主食と副食を含めた全ての無償化を検討してはどうか。

仮に月額800円で提供できるとなれば、年間1万円以下である。

保育所の3歳以上の子どもは25人程度なので、わずか25万円で主食の無償化が達成できる。

しかも、学校給食無償化のように金銭的な補助だけではなく、保護者が準備する負担や衛生的な問題も解決でき、さらに温かくおいしいお米を食べられるようになる。

米の価格も高騰しており、町で負担できれば、まさに子どもたちの幸せを大切にし、子どもが豊に育つ喜茂別の実現に近づく政策だと思うが、町長の考えを伺う。

林町長

戦後間もない時代に3歳未満児には主食と副食の両方を提供し、それ以降は副食のみという仕組みが設けられ、その後も一部地域では継続されてきた。

しかしながら、現在においては、その制度が時代遅れとなっていることは否定できない。

全国的にも、多くの自治体では保育所で主食を用意し、無償または選択制で提供する取り組みが進んでいる。

本町では、保育所の給食費については、0歳から2歳児は保育料と合わせて、3歳から5歳児は主食を持参することで保護者の負担としている。

この点については、在宅で子育てする場合でも、お昼ご飯は生じる費用であり、学校給食においても自己負担としていることから、保育所での給食費について、原則自己負担とした国の方針に従った形をとっている。

次年度以降、主食無償化あるいは全て含む無償化等の導入に向けて、保育所、小学校、中学校を含めた財政負担の考え方の整理を行い、また、制度変更には保護者への説明や意見聴取などの対応が必要と考えているので、その準備も並行して進めていく。

本町としても、教育委員会との検討並びに意見をいただきながら、更なる子育て支援策として実現へ向け努力していく。

旧鈴川小学校の活用方法は

町長 現段階で結論は出ていない



いわべ つよし
岩部 剛 議員

岩部議員

旧鈴川小学校の施設活用について、4月には鈴川の町民から総務課に施設活用に向けた提案書が出されているが、それに対する役場からの回答がないとのことである。

提案書では、活用案として、鈴川太鼓保存会、地域おこし協力隊の常設事務所、女子野球の冬季練習場。

また、イベントの開催案として、春には学校大掃除、夏には昨年実績で参加者が200名以上のLa Suzukawa 2、秋には子供野菜マルシェ、癒マルシェ、冬は協力隊主催文化祭、発表会、雪遊びイベント、活動報告会となっている。



▲旧鈴川小学校

学校施設は閉校後も、維持管理に費用がかかり、今はきれいな学校施設も使用していないと、どんどん老朽化が進む。

廃校の活用を広くPRしていくことも必要で、本別町の仙美里小学校のように文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」へ登録することも必要だと考える。

教員住宅を含めた鈴川小学校の施設活用について、なるべく早い段階での方向性の決定が望ましいと思うが、町長の考えを伺う。

林町長

旧鈴川小学校は、これまで教育財産として管理運営していたが、6月5日に教育委員会から総務課へ財産移管が完了し、現在は普通財産として管理が始まった。

4月に鈴川町内会の役員の方々が来庁し、総務課と意見交換という主旨でお話は伺った。

6月に財産が移管となった旨は、鈴川町内会の役員にお伝えしており、ご提案があった件については、随時対応しており、先日、鈴川太鼓練習のため校舎及び物品の使用について申請があったので承認したところである。

今後の施設の方向性については、これからの議論となるが、現在、民間の会社2社からご提案をいただいている。

町としての方向を固め、地域のご意見も伺いながら進めていく考えであるが、現段階では結論が出ていない。

また、文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」に登録し、さらなるご提案をいただくことも手段の一つとしながら有効活用できるよう進めていく。

寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

また、有権者が求めてもいけません。

ご理解をお願いいたします。



定例会

6月18日

令和7年度喜茂別町一般会計補正予算（第2回）について

菊地議員

青少年スポーツ全国・国際大会出場助成金の関係について、今回要綱が新たに整備されたが、助成金を支給する大会の対象範囲に町長が認める大会という文言が加えられているが、どのような大会を指すのか。

また、全国や国際規模の大会には監督や指導者等同伴することが多いと思うが、今回の要綱ではこれらの関係について触れられていないが、どのように考えているのか。

河田副町長

町長が認める大会は、国または日本スポーツ協会若しくは同協会に加盟する競技団体等が主催する大会及び全国・国際規模の大会で、外れるものはないという感じである。

引率者等については、今回の要綱は出場する選手に助成金を支出するという考えのもとで制定したのでご理解いただきたい。

菊地議員

全国大会は必ず指導者が随行して、選手一人だけ行くことはないので、今後配慮していただけたらと思うが、町長の答弁を伺いたい。

林町長

随時対応してまいりたい。

小川議員

助成金支給対象者は保護者が本町の住民とあるが、例えば町外から移住してきた方、ご子息が対象となった場合、本町に住んでいなくても支給対象になるのか。

それと、外国人も対象となるのか。

河田副町長

要綱に該当していれば対象としていきたい。

小川議員

助成金は30万円となっているが、ふるさと応援基金繰入金で40万円になっていて、この10万円の差は何なのか。

井原まちづくり振興課長

町の応援経費として懸垂幕を考えている。

本久議員

2分の1補助（全国大会）の場合でも、3分の2補助（国際大会）と同じように垂れ幕10万円計上されるのか。

井原まちづくり振興課長

交付額とは別に今後も計上していく。

越後議員

文化系の助成金も考えているのか。

林町長

随時対応してまいりたい。

山下議員

こども家庭センター開設準備事業ということで、国と道から補助金が出ているが、電話線や美装に出ているという理解でよろしいか。

菊地元気応援課長

こども家庭庁所管の子ども子育て支援交付金のメニューの中で、こども家庭センター準備経費というものが設定されている。

山下議員

こども家庭センターを開設することによって、具体的にどのような変化があるのか。

菊地元気応援課長

母子保健と児童福祉の機能を一体的に運営することで妊産婦から乳幼児の健康管理から児童虐待の予防や対応まで幅広く切れ目なく提供できるということが特徴である。

町民に対して子ども子育ての窓口はここですよと可視化できるところが一番のメリットなのかなと考えている。

臨時会

5月21日

教職員住宅新築工事の工事請負契約の締結について

本久議員

町が実際に毎年返済していく金額はどの程度になる見込みなのか。

大元総務課長

本事業は財源を過疎対策事業債としており、借入後は据置期間3年、償還期間9年の併せて12年で償還をしていく。

本久議員

1棟2戸の構成になっている理由について伺いたい。

林町長

土地も小さいし、コスト面も上がっていくような形になっているので、出来るだけ予算的なものも配慮し立てた計画となっている。

本久議員

新しいところ古いところ関係なく家賃はだいたい一定の金額なのか。

林町長

家賃は、耐用年数などから条例で決まっている金額で、具体的に3万円ぐらいだと思う。

それが古くなって今の小学校や中学校の住宅みたいに何十年も経つと1万5000円などのような形になっている。

全員協議会

6月12日開催

喜茂別町青少年スポーツ全国・国際大会出場助成金交付要綱（案）について

7月8日開催

俱知安厚生病院第2期整備事業に係る負担金の増額について

次の定例会は
9月24日を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局
（TEL 33-2217）で確認ください。

総務常任委員会

地域公共交通について（4月10日）

5月から7月の3ヶ月間、月・水・木の週3日9時半から12時半の間で、市街地の39箇所の停留所間で、デマンド方式でウサパラ号を走らせる実証実験を行うとの説明あり

菊地委員

一番欲しているのは自宅から目的地にさっと来て、用事足したらまたすっと帰りたい。

私個人としてはデマンドは100%いい方法だとは思っていない。

京極町では200円で目的地まで行けるタクシー事業をやっており、町が残りを負担している。

この辺も含めて調査して、財政的な問題、乗る人がたの利便性を考えて、理解されて感謝されるようなものになるのかだと思うがどう考えているのか。

井原まちづくり振興課長

ドアトゥドアを求められている高齢者の方は、それは事実だが、タクシー業者と競合してしまう。

あと、使用車両が現行のウサパラバスなので、ドアトゥドアまで行けないような住宅地とか場所によってはある。

実証実験では利用状況とか、本当にドアトゥドアが必要なのかとか、タクシーの方がいいとかそちらも検証したい。

越後委員

資料に「障害者手帳等お持ちの方は無料でご利用できます」と書いているが、下の方には「自らバスに乗車できる方に限る」と書いており、矛盾していると思う。

障害者で自分で乗れない方にも手をさしのべて乗れるという認識でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

表現についてはちょっと考えて直す。

阿部委員

私のイメージしているのと相当違うというのが第一印象。

インターネットでアンケートを採ったが、75歳以上の方はインターネットをやっているのか。

18名のアンケートだがこれが正しいということにならないと思う。

玄関から玄関がデマンドタクシーの基本的な考え方。

また、月曜日から金曜日までクリニックは開いているので週3日の運行はいかがなものか。

ウサパラ号と併用し運行するのか、デマンドタクシーとして別に考えているのか、きちんと整理しておかないとなかなか理解してもらえない。

井原まちづくり振興課長

ドアトゥドアの可能性やバスに限らず、タクシーの方法とかを実証実験で把握していきたい。

本久委員

介助者も利用登録は必要なのか。

あと、申請書を出す場合は、FAXとか電子メールとかでもできるのか。

井原まちづくり振興課長

FAXとかそういった活用もあると思う。介助の家族も申請書を書いていただければと考えている。

小川委員

双葉・鈴川とかでは足の悪い方には今実際家の前まで行っていると思うが、完全に停留所から停留所じゃないと駄目ということか。

井原まちづくり振興課長

市街地については、指定停留所とさせていただき、栄・相川・留産・比羅岡・尻別の方についてはご自宅付近からとさせていただく。

山下委員

私は、分科会のメンバーで会議も参加して

いたが、元々自宅からと言っていなかったか。

井原まちづくり振興課長

分科会では確かにドアトゥドアの声もあったが、事業者の競合などを踏まえ検討させていただいた。

山下委員

民間のタクシー会社がやめてくれと言ってきているのか。

井原まちづくり振興課長

指定停留所にさせていただいたのは、事業者ではなく、町の方でさせていただいた。

山下委員

そのタクシー会社が自宅から自宅でも構いませんよと言ったらやるのか。

井原まちづくり振興課長

事業者の了解をもらえれば。

山下委員

分科会では、行きは自宅からバス停、帰りはバス停から自宅までという話だった。

バス停方式を町が自主的に考えた形だと思うが、事業者の意向を聞かないと。

自宅から乗れるか乗れないかは、本当に根底を覆すぐらい大きな事情だと思うので、そこは確認して可能な限り自宅から行けるようにした方がいいと思うがどうか。

井原まちづくり振興課長

事業者とも再度確認させていただいて、本当にドアトゥドアが可能だったら考えたい。

山下委員

鈴川などから反対の意見も出ているというのが、具体的な内容を聞きたい。

井原まちづくり振興課長

定時路線を望まれている声もある。

山下委員

今運賃が65歳以上と障害者手帳等お持ちの方は無料で、実質ウサパラに関しては93%が

無料利用である。

今回実証実験だからとりあえず無料でやるが、65歳以上、実証実験のあと取るか取らないかはという線引きで考えているのか。

井原まちづくり振興課長

料金設定については、ウサパラ号については現行200円だが、200円が本当に望ましいのかというのはあり、他の利用料とかも踏まえて判断してまいりたい。

山下委員

つまり、実証実験が終わった後に協議会か何かの中で話し合って決めるということか。

井原まちづくり振興課長

実証実験しながら状況を把握して、分科会、協議会の方の意見をいただいて、どのような料金が望ましいのか模索して参りたい。

岩部委員長

朝の通学便は、今期から鈴川小学校の児童また中学生、高校生も乗ると思うが、一般の方が乗る席に余裕はあるか。

井原まちづくり振興課長

予約が入った時点で空きがあれば乗れる。

岩部委員長

同じバス停で待っていても予約されてなければ乗れないということか。

井原まちづくり振興課長

はい。

国保税について（6月12日）

3月定例会では、北海道が試算した市町村標準保険税率に基づき、税率、税額を見直すよう、国民健康保険審議会からの答申に基づき改正し、4月臨時会では、地方税法施行令の改正に伴い、賦課限度額と軽減判定所得における一人当たりの控除加算額を改正している旨説明あり。

月	日	行 事	出席者	場 所
5	1 6	喜茂別町商工会通常総会	議 長	
	2 1	第3回臨時会	全議員	
	2 5	令和7年喜茂別消防春季演習	各議員	
	2 6	後志総合開発期成会 小樽・後志要望	議 長	小樽市・ 倶知安町
	27～28	全国議長会主催 議長副議長研修	正副議長	東京都
	2 7	羊蹄山ろく消防組合 第1回臨時議会	組合議員	倶知安町
	3 0	後志総合開発期成会 北海道要望	議 長	札幌市
	3 1	喜茂別中学校 体育祭	各議員	
6	1	第1回北海道豊かな海づくり大会	議 長	小樽市
		真駒内駐屯地記念行事	副議長	札幌市
	5～6	後志総合開発期成会 懇談会・中央要望	議 長	東京都
	7	喜茂別小学校 運動会	全議員	
	1 0	後志町村議会議長会 臨時総会	議 長	札幌市
		北海道町村議会議長会 定期総会・研修会	議 長	札幌市
		羊蹄山麓町村議会正副議長会 臨時総会	正副議長	札幌市
	1 2	議会運営委員会	全委員	
		総務常任委員会	全委員	
		全員協議会	全議員	
	1 8	第2回定例会	全議員	
	2 1	保育所運動会	全議員	
	2 2	倶知安駐屯地創立70周年記念行事	議 長	
7	2	羊蹄山ろく消防組合 第2回臨時会	組合議員	倶知安町
	8	全員協議会	全議員	
		北海道町村議会議長会主催 議員研修	全議員	札幌市
	1 4	後志町村議会議員研修・交流会	全議員	留寿都村
	1 5	議会広報編集委員会	各委員	



編集後記

福島町で起きたヒグマの事故は衝撃的だった。早朝に新聞配達員がヒグマに襲われたものです。

喜茂別町のヒグマ出没状況は、昨年度15件、令和7年度は7月22日時点で6件であり、目撃の時間帯は昼夜を問わず様々です。

住宅地にヒグマを寄せ付けないために、生ごみの出し方のルールを徹底することが大切となります。

ヒグマがいるかもしれないという心がけが大切で、野山に入るときは、クマよけスプレーを持参するなど細心の注意が必要です。

第27回参議院選挙が行われ、衆参両院で与党過半数割れとなった。

物価高、燃料費高騰で私たちの暮らしは非常に厳しい状況であり、私たち国民一人一人が豊かさを感じられるような国づくりが望まれます。

暑さが続きますが、こまめな水分補給で熱中症にならないように気を付けましょう。

議会広報編集委員会副委員長 岩部 剛